

週間漁海況情報—第7号

平成26年2月17日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

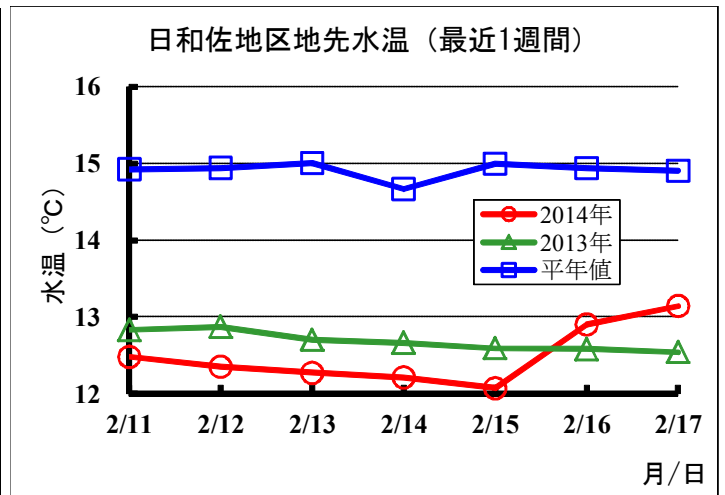
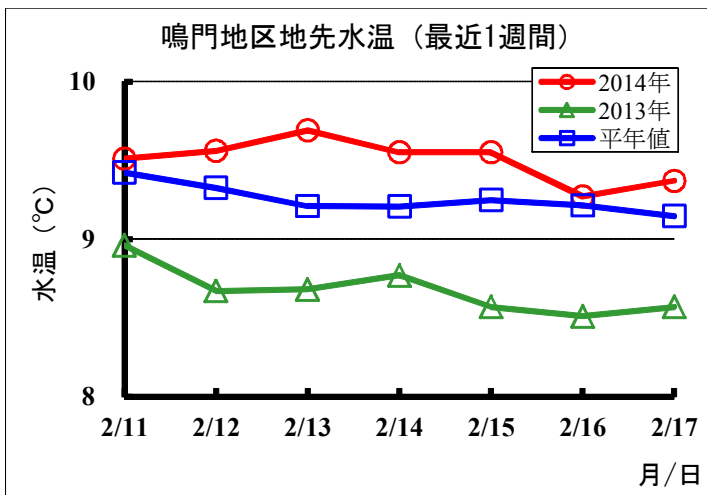
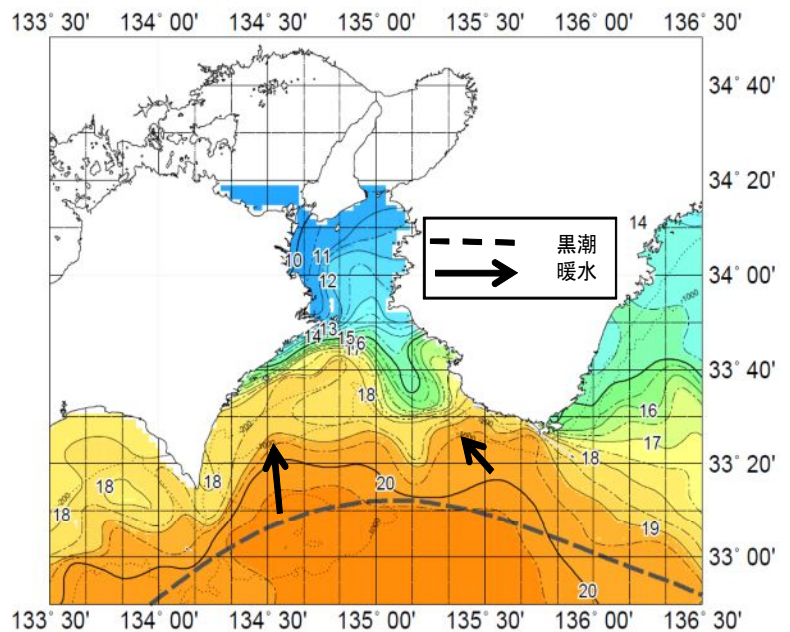
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.2.17）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で13～18℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬沖からと、潮岬沖からの両方から暖水流入がみられる。海部沿岸は広く16～18℃台に覆われている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の9.3～9.7℃、日和佐地区は「かなり低め」～「低め」の12.1～13.1℃、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の10.9～16.3℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

2014年2月14日～15日の南岸低気圧の影響により、出漁日数が少なかった。

延縄：海部沿岸で、カワハギが0.1トン（1日1隻あたり31kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが0.9トン（同109kg）、中主体にスズキ類が0.1トン（同6kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2014年2月10日～2014年2月16日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	4	123	31	
小型定置網		カタクチイワシ	8	872	109	
		スズキ類	23	142	6	中主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年2月11日～2月17日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.7トン、大主体にキダイが0.6トン、建網で、ヒラメが0.4トン、小型定置網で、スルメイカが0.5トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが0.7トン、小主体にゴマサバが0.2トン、ブリが0.5トン、中主体にスルメイカが2.5トン、釣りで、大主体にマアジが0.2トン、大主体にアオリイカが0.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の8～9℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の12～13℃台で推移する見込み。